

■議事要旨

(1) 第二次健康増進計画評価結果報告書について

事務局：第二次健康増進計画評価結果報告書について説明。

所会長：施策の評価にC評価が多い。次期計画の策定において、この解決策をどうしていくのか。取り組みを羅列して達成できませんでしたでは意味がない。具体的な解決法を次回の委員会までに検討するのか。これまでも検討してきているのか。もし検討しているであれば、評価の低い項目をどう修正するかが分かれば教えていただきたい。

事務局：中間評価の際に修正した部分もある。最終評価を行う中で指標としてふさわしくなかった項目もあった。評価指標としては、例えば、幼児の朝食の摂取率が少し下がっているが、食べていないのは子どもだけではなく親子で食べるのが少なくなったため、摂取率が下がっているという現状が見えてきている。できていないところを課題ととらえ、第3次計画でも継続していくのか、また、新たなステップに変更して取り組んでいくのか、検討していきたいと考えている。

所会長：3回目の計画になるので、同じことの繰り返しにならないように。世の中の変化に対応した取り組みを進めていただきたい。

林春代委員：食生活改善推進委員の高齢化が進み、会員数が減少している。地域の人にもっと伝達していかなければいけない場面があるが、なかなか踏み込めない。十分活動していたと思っていたが、評価がCとなっている。健康づくりも含め様々な活動をしているが、広報しても口コミで広めても参加者が少ない。

所会長：100%の目標もあるが、元々の目標設定が高すぎた可能性もある。

武内副会長：歯科に関連して、施策の体系の3番目に「生涯をとおした適切な生活習慣の定着」に「口腔ケアの推進」があるが、次期計画を立てる場合には「生活習慣病の発症及び重症化・合併症の予防」に「歯周病対策」を追加してはどうかと思う。歯科の2大疾患はむし歯と歯周病である。むし歯は大人も子どもも大きく減少し、公衆衛生的にはむし歯対策は既に達成しているといえる。一方、歯周病は増加傾向にあり、歯周病は糖尿病などへの影響も大きい。肥満とも関連し、場合によっては心臓病・腎臓病など全身疾患にもつながる。妊産婦、胎児にも影響があるなど口腔だけの話だけではない。市民の誰もが歯周病になる可能性があることから、歯周病対策は取り組むべき課題だと思う。

所会長：次期計画に位置付けるか検討いただきたい。

溝口委員：新型コロナ感染症により、休校3か月で体重が増える子どもが増加した。生活習慣が崩れている。新しい生活の中で保健活動をやれていない学校も多い。子どものうちから健康的な生活習慣を定着させるためにも、評価だけでなく背景も含めて検

討しながら対策を進めていただきたい。

所会長：新型コロナの問題も2～3年は続くことが予想され、With コロナの時代に、学校としてどうしていくか。半年間で少しずつ感染症対策に慣れてきた面もあり、過去のデータを分析して、徐々に新しい生活様式に対応していく必要があると思う。

中林委員：評価がCとなっているが、Cができなかったわけではなく、満足したからCとなった項目もあると思う。

所会長：ABCの評価は、その背景も考え、達成したいと思った5年前と比べて、目標がそれでよかったのか考えなおす必要もある。

棚瀬委員：目標でヘモグロビンA1C6.1%以上の方の実績が2.6%となっているが、現状として、対象者となる方の治療につながっていない。対象者の減少よりも治療につなげていくことを目標とするべき。県の糖尿病対策推進協議会にも参画しているが、対象となる方が治療に行っていない課題が指摘されている。対象者の多くが40代、50代のため、検査結果が悪くとも、症状が出ていないため、仕事が忙しいことを理由に治療していない。難しいことですが治療につなげるにはどうしたらよいかを検討してほしい。また、たばこについて、小学校・中学校で禁煙の話をする、親の問題を感じる人が多い。30歳～50歳を対象に徹底的に力を入れる必要がある。新型コロナとCOPDの組み合わせは死につながるため、新型コロナを意識して重点的に取り組むべきだ。また、禁煙できたかどうか、ポイント制で成功した人にインセンティブがあるとよいと思う。さらに地域づくりの視点から、禁煙に徹底的に取り組むことは、妊婦、新生児にやさしい地域づくにつながると思われる。現在、瑞穂市は人口増加が続いている市として注目を集めているが、いずれ減少する時期が来るため、勢いのある今のうちから、瑞穂市は新生児にやさしいまちづくりをしているとPRできるのでは。新型コロナの影響で書面での会議となると、委員の皆さんの意見が聞けなくなる。その対策として、Web会議にもチャレンジする必要もあるのでは。また、介護保険事業計画の会議では事前に資料を配布し、委員から意見を事前にいただく形式で実施していた。ぜひ取り組んでみてほしい。

所会長：市として取り組めることを検討してほしい。

中林委員：禁煙に関して、乳幼児健診などの機会に、喫煙している若い親に周知してはどうか。夫婦がそろった機会に話してはどうかと思う。

(2) アンケート調査結果報告について

事務局：アンケート調査結果の報告。

所会長：ご意見があれば。ご意見がないようでしたら、事務局に進行を戻します。

事務局：9月までに骨子をつくり、施策・事業を実施できる体制をつくっていきたいと思う。

以上

会議の経過を記載して、その相違のないことを証するためにここに署名する。